

MDF2023

次世代医療システム産業化フォーラムの取り組みについて

大阪商工会議所

大阪商工会議所中期ビジョンの
 戦略分野に位置づけ、
 スポーツ・健康・医療の
 ウェルネスビジネス創出を
 シームレスにサポート

2. ウェルネス ビジネス創出

- 「創薬」「医療機器」「スポーツ」でマッチングから販路開拓まで包括支援
- 各領域の融合による新ビジネス創出
- 多国間連携で医療系スタートアップの発掘・育成
- 医療機器ビジネスの途上国市場開拓支援

挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン

概要版

大阪の国際競争力強化と持続的成長

2025年大阪・関西万博を活かしながら地球環境や人類のウェルビーイング、社会課題解決に貢献するイノベティブな産業の集積をめざす「価値創出・課題解決プロジェクト」、大阪経済を支える中小企業の成長を後押しする「経営基盤強化パッケージ」の総計41事業を展開

ユーザーをも巻き込んで
 未来をデザイン

2025年大阪・関西万博・スーパーシティ
 ○万博に向けた機運醸成・参画の支援
 ○大阪ヘルスケアパビリオンへの出展を支援
 ○都心部での魅力発信とビジネス交流を支援

若者活躍・挑戦応援

価値創出・課題解決プロジェクト

1. ものづくり× イノベーション

- 次世代テックフォーラムで異分野・異業種・同業種の連携促進
- 全国の商工会議所と連携し、スタートアップと中小企業をマッチング
- 町工場同士の横請けに加え、スタートアップとの試作開発で価値創出加速
- 繊維・アパレル分野のイノベーションを促進、発信

2. ウェルネス ビジネス創出

- 「創薬」「医療機器」「スポーツ」でマッチングから販路開拓まで包括支援
- 各領域の融合による新ビジネス創出
- 多国間連携で医療系スタートアップの発掘・育成
- 医療機器ビジネスの途上国市場開拓支援

3. 都市魅力 再構築

- 万博を見据え、なんば駅前広場、あびのび広場、御堂筋など整備が進む都市空間を活かした都市魅力の創出
- グレートミナミの産業振興、観光交流等の活性化を支援
- 食や文化を活かした観光の高付加価値化による、インパウンドの受入れ促進
- 商店街観光の振興

4. まちなか リビングラボ

- 「未来社会の実験場」を大阪全体で「まちなかりビングラボ」として展開
- 大阪府・大阪市・大商による「実証事業推進チーム大阪」で、国内外へのPR強化、都心シンボル空間での実証支援を拡充

経営基盤強化パッケージ

5. 稼ぐ力強化

- 本部・支部による資金繰り支援等の経営相談
- 中小企業活性化協議会、事業承継・引継ぎ支援センターによる事業再生・事業承継支援の強化
- 事業の再生・承継の支援強化
- デザイン思考を活用した新事業創出支援

6. 人的資本強化

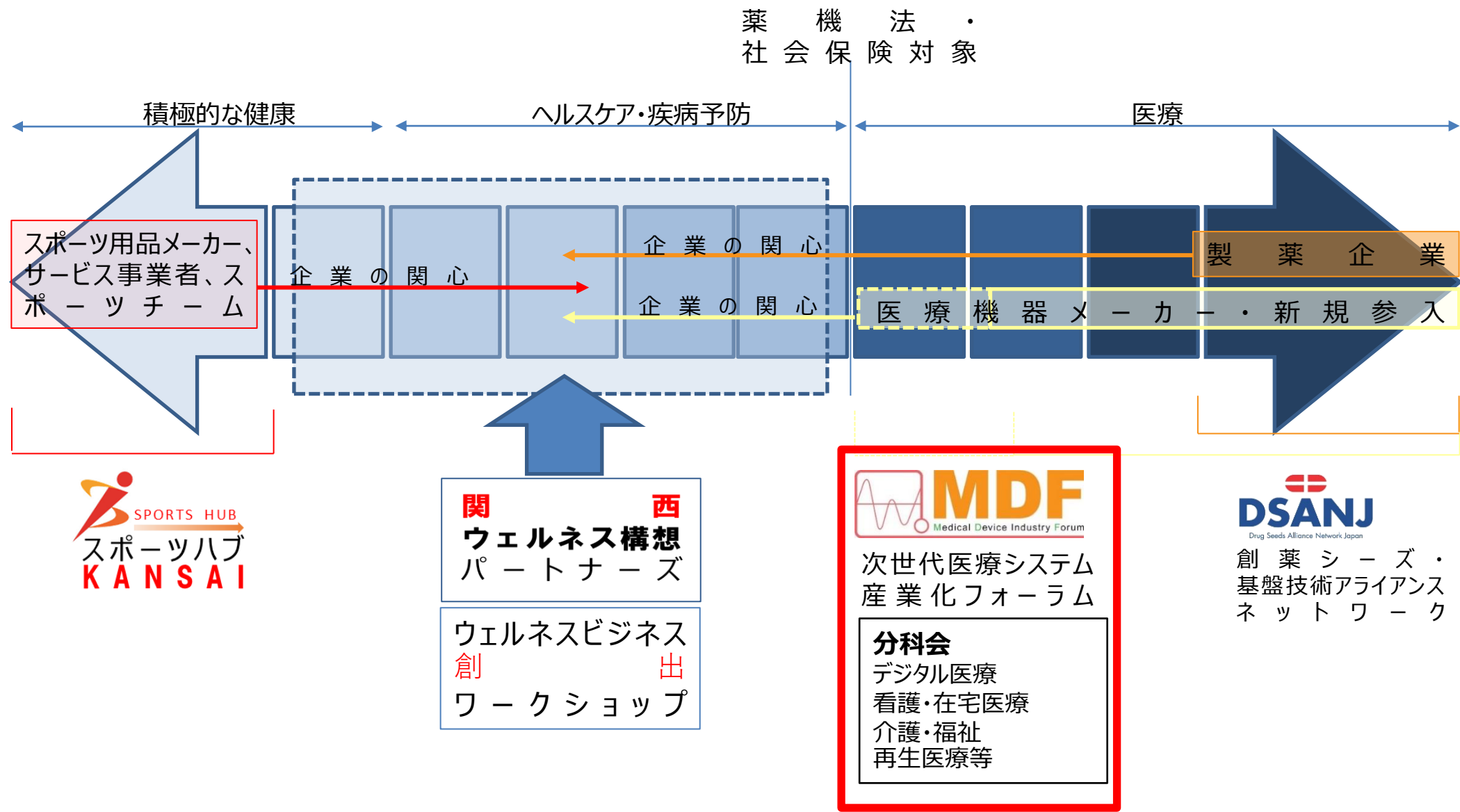
- 大学等と連携した社会人の学び直し（リスキリング）支援
- 女性・外国人等多様な人材の活躍推進
- 大学と企業の情報交換会、若手人材のネットワーク構築等、若手人材の確保・活躍推進
- 講座、検定、大阪企業家ミュージアムで、中小企業の人材育成を支援

7. 商流創造・ グローバル展開

- 「大阪勤業展」「買いませ! 売れ筋商品発掘市」等各種商談会による販路開拓を支援
- 全国の商工会議所によるザ・ビジネスモールを活用したオンライン商談支援
- 中小企業の万博参画を促す、万博関連受発注支援サイトの運営
- 中小企業のアセアン地域進出を支援するプラットフォーム運営

インフラ整備

提言・要望



医療機器等開発の総合支援プラットフォーム 医工連携、企業間連携、事業化支援促進

1. 事業目的

- 異業種からの医療への新規参入促進による新ビジネス創出
- 医療機器分野のイノベーション創出エコシステム

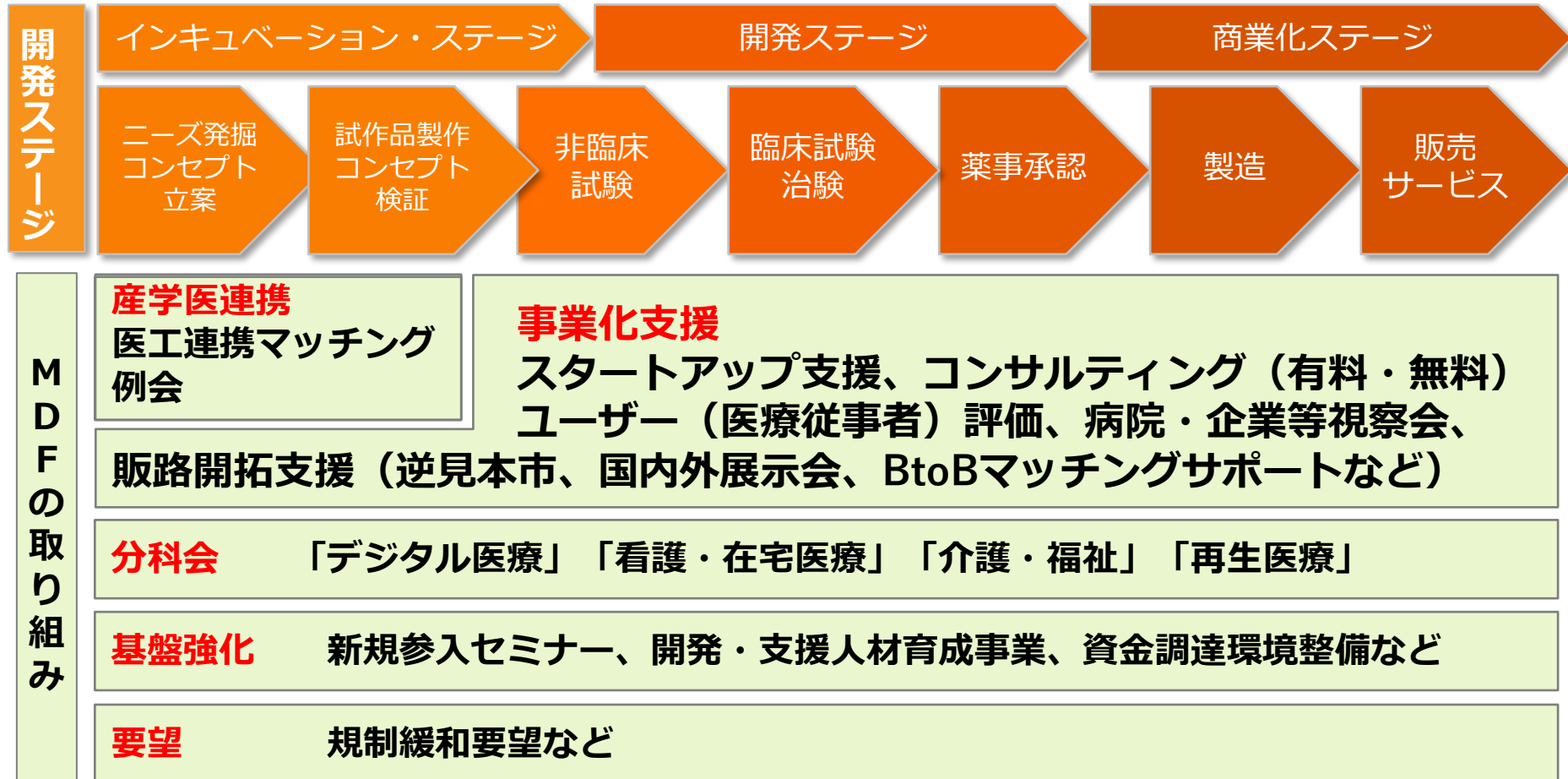
2. 特長

- 全国初の医工連携プラットフォーム（2003年～）
- 全国の病院・大学・研究機関・企業対象のプラットフォーム
- あらゆるステージにおける事業化支援を可能にする体制
- 欧米アジアとのグローバルネットワーク構築

3. 主なプログラム

- 医工連携マッチング事業：年間40件以上の医療現場ニーズ・シーズを企業に対して発表（2022年度:41件）
- 事業化コンサルティング：20名超の専門人材があらゆる相談に対応（2022年度:361社/675件）
- 医療機器等ユーザー評価事業：医療従事者が開発・試作品等を評価（2022年度:17件）
- 販路開拓支援：医療機器メーカー・販売会社に対する売込商談会を実施（2022年度:52件商談）

全国統一の医療機器等開発エコシステム構築



貴社の技術を医療・介護・福祉へ活用！ 最近の感染症予防含め社会課題の解決に貢献！

本フォーラムで、多様な企業が活躍中！

- ・新規事業を探索している中堅・大企業
- ・小ロット多品種製造を得意とする中小企業
- ・オンリーワンの部素材・加工技術を持ったモノづくり企業
- ・現場の声を速やかに製品に反映できる機動力を持った企業
- ・医療機器開発・事業化をサポートするサービス業者

上記のほか、医療機器メーカー・医薬品メーカーも参加！



医療分野のビジネスに参入したいが、どのように進めていけばよいのでしょうか？

自社の技術をどのように医療分野等で活用できるか、具体的な参入事例・方法をご紹介します、参入をサポートいたします。

どのように参入すべきかお悩みの企業様はまずはお相談ください！

本フォーラムに入会するとこんなメリットが！

- ・医療現場の課題・ニーズを把握することができる！
- ・個別に医療従事者と議論をできる場が得られる！
- ・普段目にする事のできない医療機関の中が見られる！
- ・開発中の製品を医療従事者に評価してもらえる！用途開発も！
- ・医療現場のみならず開発に取り組む企業とも知り合える！

対象企業

健康・医療・介護機器開発等に関心がある企業(これから参入予定の企業を含む)。企業規模、事業内容、所在地に制限はありません。

参加料・サービス対応表

会員区分	参加費 (年額,税込)		主なサービスの利用可否				
	主催・共催 会議所会員	左記 非会員	例会	分科会	事業化 支援	ユーザー 評価	病院 見学会
正会員	¥123,200	¥173,800					
正会員 (資本金 3 千万円以下)	¥102,300	¥143,000	○	○※2	○	○ 有料	○ 有料
正会員 (ベンチャー企業※1)	¥52,800						
分科会 会員 (料金は一つの分科会あたり)	¥52,800 ※2023年度無料		—	○※2	○ 正会員優先	—	○ 有料 正会員優先
特別会員 (大学・医療機関・公的研究機関等)	無料		○ 面談不可	○※2	—	—	—

・法人毎にご登録下さい。(参加登録した企業の子会社、関係会社の方も別途上記参加費が必要です。)

・上記の参加費で年間すべての例会に、参加企業の方であれば何人でもご参加いただけます。但し、交流会等は実費をその都度申し受けます。

・正会員につき、10月以降に参加申込みの場合は上記金額の半額となります。

※1 創業5年未満かつ資本金3億円以下で、他の事業会社が単独で発行済株式総数または出資総額の2分の1以上を所有または出資をしていない企業。

※2 分科会はイベント毎に別途参加費を設ける場合があります。

[詳細・お申込みはHPまで] <https://www.osaka.cci.or.jp/mdf/admission/>

参加数は分科会含め のべ**1,910社 4,533名!**

※2023年3月時点

区分		参加企業・参加者数	
企業正会員数 (正会員等、有料参加企業)		117社 (有料会員)	
会員登録者数 (企業正会員、医療機関等の特別会員の登録者)		681名	
分科会	デジタル医療	802社	1,898名
	看護・在宅医療	394社	740名
	介護・福祉	336社	642名
	再生医療等	261社	572名

医工連携マッチング例会実績 (2023年2月時点)

ニーズ・シーズ提案 ⇒ マッチング ⇒ さらに進展

	課題提案数 (例会発表案件数)	マッチング数 (関心社・研究者との 個別面談数)	面談後進展数 (左記マッチング からの発展)
2022年度	41件	102件	19件
累計 (2003年開始時~)	913件	3,171件	438件

MDF事業化実績

事業化
(上市等)
68件

※MDF関連事業での
事業化15件を含む

1. 医工連携マッチング例会（年8回。課題40件以上！）
2. 分科会（「デジタル医療」「看護・在宅医療」「介護・福祉」「再生医療」を深掘り）
3. 医療従事者・研究者等との個別面談
4. 医療機器等事業化コンサルティング
5. 販路開拓支援（逆見本市／国内外展示会共同出展）
6. 企業間連携支援（オープンイノベーション提案会）
7. ユーザー評価（周辺機器・設備・サービスも対象）
8. 病院・企業見学会（関係者解説・意見交換付き）
9. 各種セミナー（最新情報提供、新規参入セミナー他）
10. 人材育成（バイオデザイン等、大学提供コース紹介）
11. 海外連携（海外パートナー探し、KOL紹介など）

会員間の交流・連携促進に向けた取り組みも益々充実しております。

2022年度例会はハイブリッドおよびオンラインで開催



例会での医療現場ニーズ発表



例会後の懇親会

- 各回 5 ～ 6 名の医療従事者等が企業に対して現場ニーズ等を発表
- ニーズを解決するための提案を有する企業と発表者をマッチング
- 専門知識を有するアドバイザーが面談および面談後の事業化を支援

【モデレーター】次世代医療システム産業化フォーラム座長代表 楠岡英雄氏（独立行政法人国立病院機構理事長）

◆挨拶・事務局説明 13:00～13:20

◆第一部：最新情報提供セッション（13:20～14:20）

13:20～14:20 「経済産業省における医療機器産業政策について」 経済産業省 医療福祉機器産業室長 遠山毅氏

～休憩（10分）～

◆第二部：共同開発提案セッション（14:30～16:45）

14:30～14:55 「新規の内視鏡施行同時に食道内圧を測定する方法の開発」 岡山大学病院総合内科 助教 杉原雄策氏

14:55～15:20 「立体描写性を高める腹腔鏡上方照明システムのための照明デバイスの開発」

愛媛大学大学院 医学系研究科 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科 講師 高井昭洋氏

15:20～15:45 「リンパ浮腫患者に対するリンパ管機能測定器の開発」

国立がん研究センター中央病院 形成外科 がん専門修練医 田代絢亮氏

～休憩（10分）～

15:55～16:20 「フレキシブル基板を用いた視覚誘発電位用光刺激装置の開発」


山口大学医学部附属病院 脳神経外科講師（学術研究員）井上貴雄氏

山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科学講座 教授鈴木倫保氏

16:20～16:45 「医療機器電源コードの無線化」 大阪大学医学部附属病院 臨床工学部 楠本繁崇氏

■交流会：17:00～18:00


①医療現場ニーズを持つ医療機関、研究機関が、フォーラム例会でニーズ内容を発表



②例会参加企業（正会員企業）が、自社が関心のある医療現場ニーズを事務局に連絡



③アドバイザー立ち合いのもと、企業と医療機関、研究機関の面談を実施（1案件あたり平均3社程度）



④企業と医療機関、研究機関が合意すれば、医療機器開発にむけた共同研究、開発を開始

全国医学部・医療機関・研究機関等とのネットワーク (全国170機関と連携)

機関名
1 旭川医科大学
2 札幌医科大学
3 北海道大学
4 弘前大学
5 岩手医科大学
6 仙台厚生病院
7 東北大学
8 秋田県産業技術総合研究センター
9 秋田大学
10 筑波大学
11 物質・材料研究機構
12 自治医科大学
13 群馬大学
14 介護老人保健施設遊
15 防衛医科大学校
16 理化学研究所
17 千葉大学
18 量子科学技術研究開発機構
19 北里大学
20 慶應義塾大学
21 国立がん研究センター
22 国立国際医療研究センター
23 国立成育医療研究センター
24 産業技術大学院大学
25 芝浦工業大学
26 中央大学
27 東京医科歯科大学
28 東京工科大学
29 東京工業大学
30 東京慈恵会医科大学

機関名
31 東京女子医科大学
32 東京大学
33 東京電機大学
34 東京都医学総合研究所
35 東京農工大学
36 東京理科大学
37 東邦大学
38 東洋大学
39 虎の門病院
40 日本医科大学
41 日本原子力研究開発機構
42 日本大学
43 早稲田大学
44 電気通信大学
45 東海大学
46 川崎市立多摩病院
47 国立医薬品食品衛生研究所
48 聖マリアンナ医科大学
49 横浜国立大学
50 新潟大学
51 富山大学
52 金沢医科大学
53 金沢大学
54 北陸先端科学技術大学院大学
55 福井大学
56 岐阜大学
57 静岡県立静岡がんセンター
58 静岡大学
59 浜松医科大学
60 愛知医科大学

機関名
61 加藤外科産婦人科・乳腺クリニック
62 国立長寿医療研究センター
63 中部大学
64 豊橋技術科学大学
65 名古屋市立大学
66 名古屋大学
67 中京病院
68 三重大学
69 滋賀医科大学
70 長浜バイオ大学
71 京都桂病院
72 京都工芸繊維大学
73 京都第二赤十字病院
74 京都大学
75 京都府立医科大学
76 京都府立大学
77 武田総合病院
78 同志社大学
79 西陣病院
80 三菱京都病院
81 立命館大学
82 京都民医連あすかい病院
83 大阪医科大学
84 大阪市立大学
85 国立病院機構大阪医療センター
86 大阪警察病院
87 大阪工業大学
88 大阪赤十字病院
89 大阪大学
90 大阪電気通信大学

機関名
91 大阪府作業療法士会
92 大阪府立急性期・総合医療センター
93 大阪府立成人病センター
94 大阪府立大学
95 大阪府立母子保健総合医療センター
96 大阪保健医療大学
97 国立病院機構大阪南医療センター
98 関西医科大学
99 関西大学
100 近畿大学
101 国立循環器病研究センター
102 産業技術総合研究所
103 市立東大阪医療センター
104 吹田徳洲会病院
105 大正くすのきクリニック
106 高槻病院
107 高橋クリニック
108 篤友会坂本病院
109 富永脳神経外科病院
110 仁悠会吉川病院
111 ハートフリーやすらぎ
112 ベルランド総合病院
113 増原クリニック町田市民病院
114 箕面市立病院
115 りんくう総合医療センター
116 大阪公立大学
117 大阪脳神経外科病院
118 淡路医療センター
119 北播磨総合医療センター
120 神戸市機械金属工業会

機関名
121 神戸大学
122 市立伊丹病院
123 (財) 先端医療振興財団
124 西神戸医療センター
125 東神戸病院
126 姫路聖マリア病院
127 兵庫医科大学
128 兵庫医療大学
129 兵庫県立大学
130 武庫川女子大学
131 山本歯科医院矯正歯科クリニック
132 奈良先端科学技術大学院大学
133 奈良県立医科大学
134 天理よろづ相談所病院
135 和歌山県立医科大学
136 鳥取大学
137 島根大学
138 岡山大学
139 川崎医科大学
140 倉敷芸術科学大学
141 広島大学
142 周東総合病院
143 長門総合病院
144 山口大学
145 関門医療センター
146 徳島大学
147 徳島文理大学
148 香川大学
149 愛媛大学
150 国立病院機構四国がんセンター

機関名
151 高知大学
152 小倉記念病院
153 九州産業大学
154 九州大学
155 九州工業大学
156 久留米大学
157 産業医科大学
158 福岡工業大学
159 福岡大学
160 福岡県立医科大学
161 佐賀大学
162 長崎大学
163 熊本大学
164 大腸肛門病センター高野病院
165 大分大学
166 宮崎大学
167 鹿児島大学
168 琉球大学
169 オックスフォード大学
170 クランフィールド大学

英・マンチェスター

独・ベルリン・NRW州

★2010年MOU締結
米・ミネソタ州

米・オハイオ州
(クリーブランドクリニック)

米・カルフォルニア州
(BioCom)

★2012年MOU締結
シンガポール

豪・ビクトリア州

クラスター間交流の促進

- 企業視察団の派遣・受け入れ
- 人材育成プログラムの共同実施
- フォーラム・カンファレンスの実施、講師の派遣
- 国際手技トレーニングの実施支援

企業の国際展開支援実績

- 米進出・FDA承認取得済: 2社
- 米市場調査・展開支援中: 4社
- シンガポール進出済: 1社
- シンガポール市場展開支援中: 1社
- 英進出済: 1社
- EU市場調査・展開支援中: 4社

World Medical Forum in Japan
海外KOL招へいプログラム
人材育成プログラムinミネソタ
海外展示会共同出展など
多数の連携実績

シンガポール 科学技術研究庁 (A-STAR)とのMOU締結(2012年10月)

国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科及び医学部附属病院と
大阪商工会議所との間の研究・事業化連携の推進に関する協定書
(Medical/Healthcare Partnership Agreement)

国立大学法人大阪大学(以下、「甲」という。)と大阪商工会議所(以下、「乙」という。)は、甲の大学院医学系研究科及び医学部附属病院と乙(以下、「各機関」という。)とが、相互の包括的な連携推進により、健康・医療分野におけるイノベーションの実現に向け、組織、分野を越えた多様な連携の推進、人材の育成・交流、学術研究の振興と研究成果の事業化、社会活用の推進を図るため、ここに連携推進協定を締結することに基づきものである。

- 第1条 各機関の代表者は、健康・医療分野におけるイノベーションの実現に向けた学術研究の振興と研究成果の事業化、社会活用の推進を図るため、以下により連携推進を行うものとする。
- (1) 共同研究講座の設置等による共同研究の振興と研究者の育成・交流
 - (2) 事業化に向けた知財整理、ベンチャー支援等のための人材の育成・交流
 - (3) 組織、分野を越えた多様な連携の推進による研究成果の事業化、社会活用推進に向けた新たな体制や法制度等の研究、実証事業等の実施
- 第2条 前条に定める共同研究、人材の育成・交流、等の具体的な事項は、その都度両者で意見の交換を行い調整するものとする。
- 第3条 各機関の代表者は、本協定の存在につき、第三者に明示できるものとする。
- 第4条 本協定は、協定締結の日から2年間効力を有するものとする。各機関の代表者のいずれかが本協定の満了する9ヶ月前までに書面により通知した場合は、本協定を終了することができるものとする。また、当該通知がなされない場合は、本協定はさらに2年間更新されるものとする。
- 第5条 この協定書に定める事項に疑義が生じた場合、もしくは改定の必要がある場合は、各機関の代表者が協議のうえ、処理するものとする。

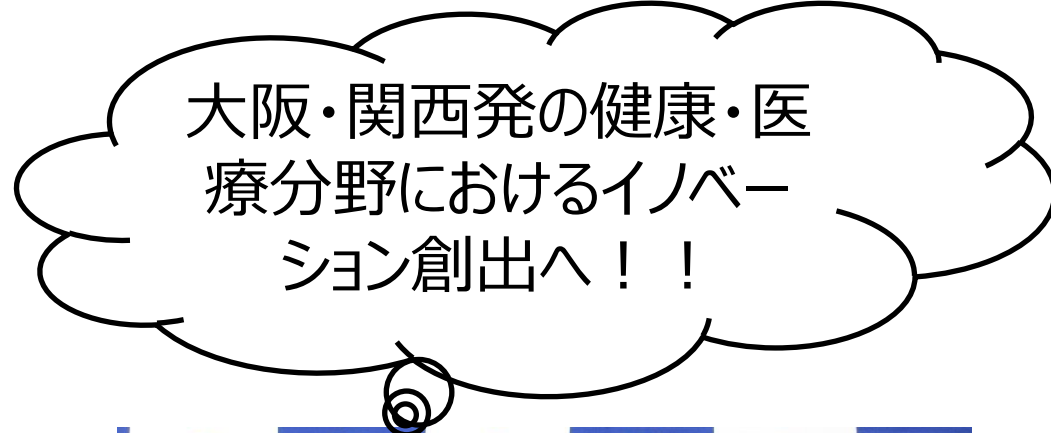
この協定書は、3通作成し、各機関の代表者がそれぞれ1通保有するものとする。

平成28年4月12日
国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科長
澤 芳樹
澤 芳 樹

平成28年4月12日
大阪商工会議所 専務理事
宮城 勉
宮 城 勉

国立大学法人大阪大学 医学部附属病院院長
野口 眞三郎
野 口 眞 三 郎

健康・医療分野におけるイノベーションを推進し、組織、分野を越えた多様な連携の推進、人材の育成・交流、学術研究の振興と研究成果の事業化、社会活用の推進を図る



宮城・大商専務（左から3番目）、澤・阪大研究科長（右から2人目）、野口・阪大病院長（右端）〈当時〉

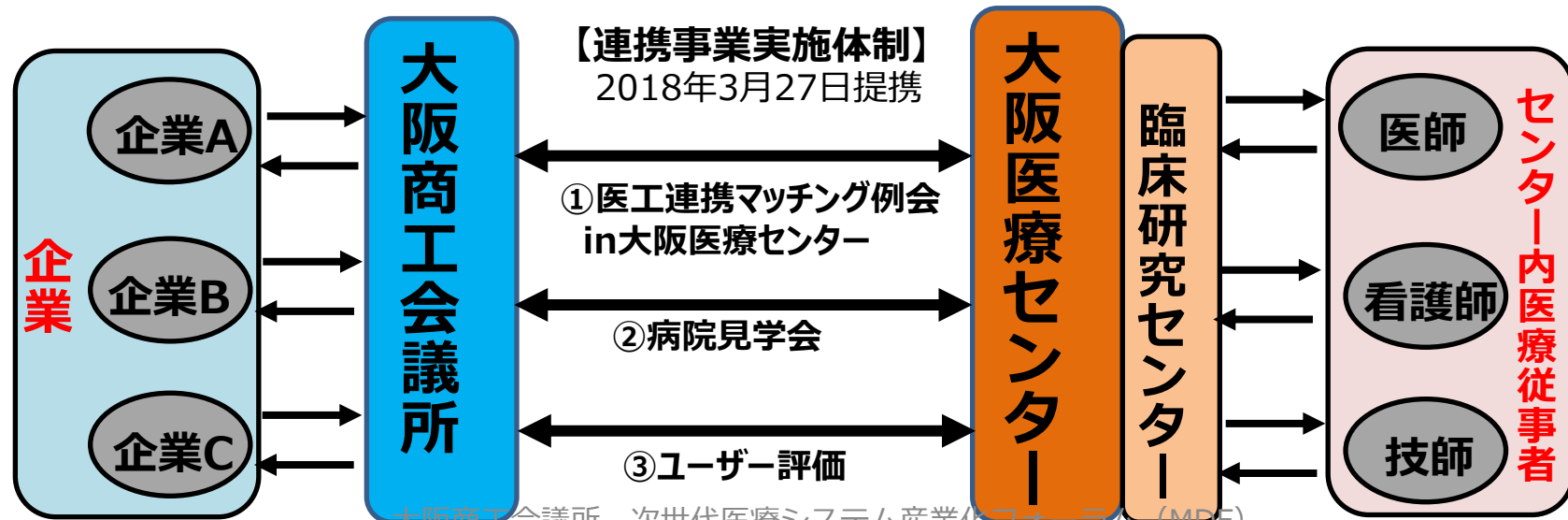
2016年4月12日
連携協定締結

■目的

- 医療機関（大阪医療センター）と産業界（大阪商工会議所）が連携し、持続的に医療現場ニーズに即した次世代の医療機器および医療システムの創出に取り組む。
- 本取り組みを通じ、大阪のみならず関西、さらには全国の産学医連携モデルの構築を目指す。

■実施事業

1. 医工連携マッチング例会
2. 病院見学会
3. 医療従事者による製品評価事業



2018年3月27日
連携協定締結

国立循環器病研究センター、国立医薬基盤・健康・栄養研究所との連携

■目的

- 西日本唯一のナショナルセンターである国立循環器病研究センターと、北大阪健康医療都市（愛称「健都」）に移転予定である国立健康・栄養研究所（国立医薬基盤・健康・栄養研究所）、及び全国を対象に健康・医療分野でのイノベーション創出に取り組む大阪商工会議所が連携し、持続的に次世代の健康や予防、医療に貢献するプロジェクトや製品・サービス・システム等の創出に取り組む。
- 本取り組みを通じ、「健都」が目指す①オープンイノベーションによる複合健康・医療産業拠点、②産学医連携による安心・安全で生き生きとした生活ができる都市モデルの構築、に貢献する。

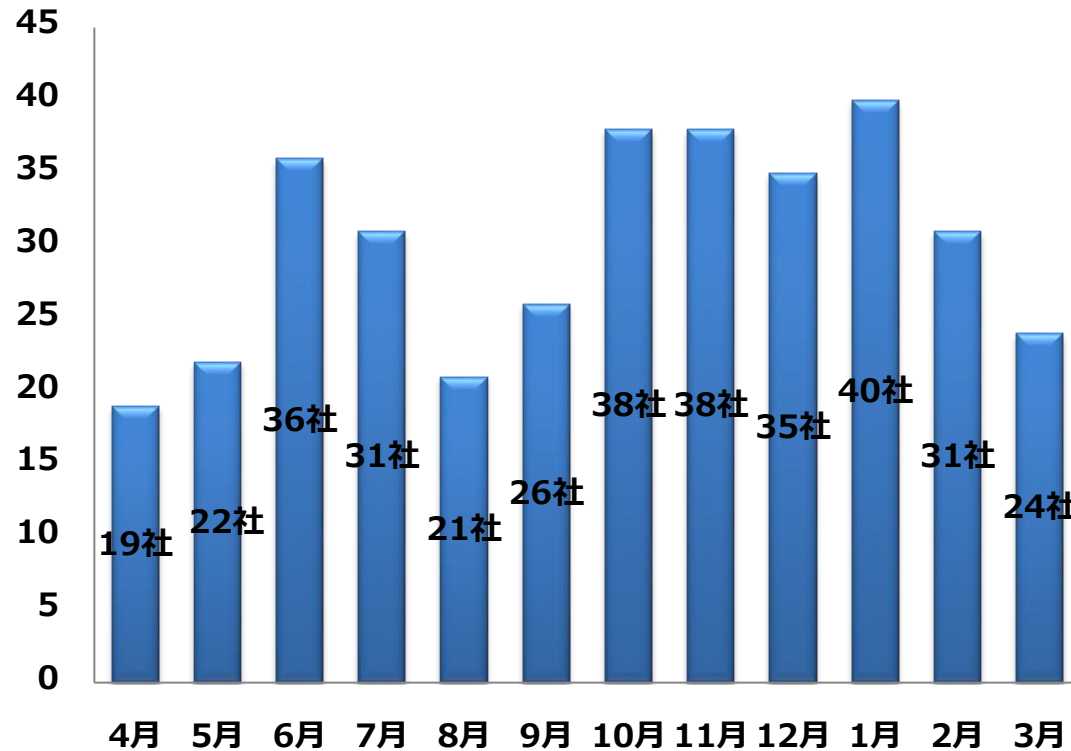


2021年2月10日
連携協定締結

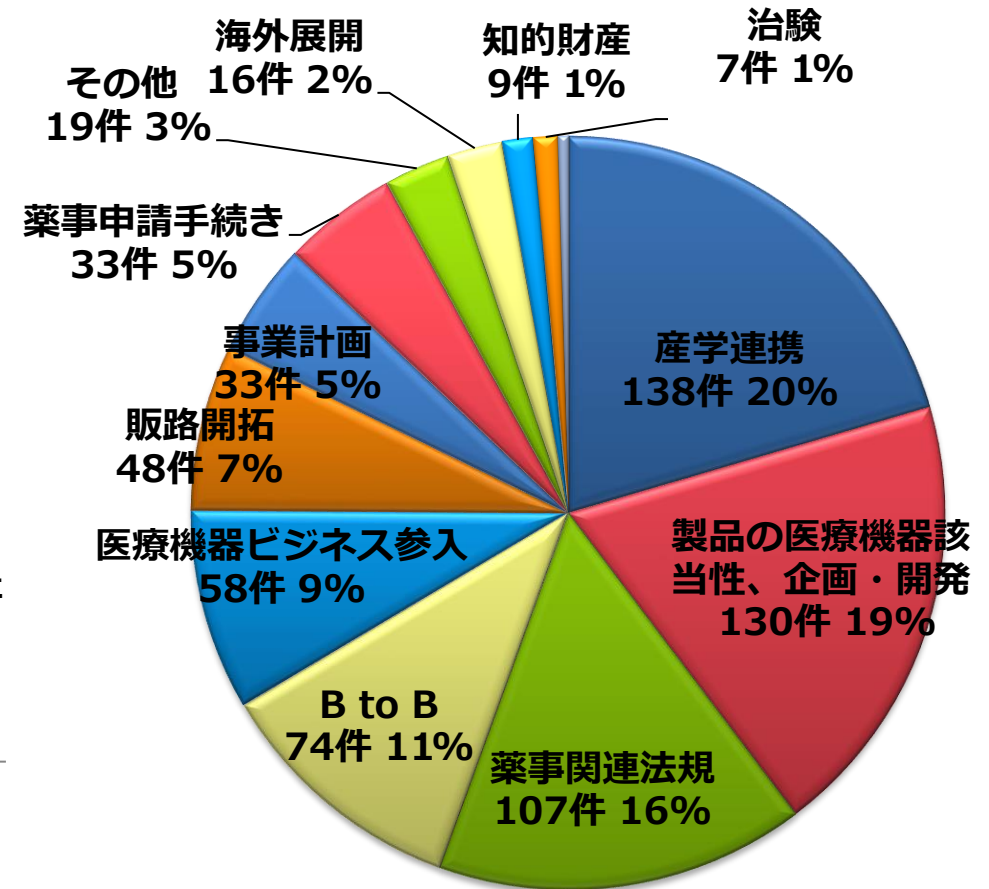
各企業が医療機器の開発や事業化を推進する際に直面する課題について専門家が個別にアドバイスする機会を提供。

2022年度 事業化相談社数合計 361社(675件)（2022年4月～2023年3月）

月別相談社数



相談内容



医療・介護現場のニーズに即した製品開発の促進を目的に、医療・介護従事者に開発中の製品をみてもらい、改良・開発につながるコメントをもらう機会を提供。

2022年度実施例

No	実施日	案件名	評価機関
1	5/25	データ管理システム	大阪医療センター
2	6/23	病理診断機器	大阪医療センター
3	6/27	内視鏡システム	大阪医療センター
4	6/29	配薬準備機※	大阪医療センター
5	6/29	服薬監査支援システム※	大阪医療センター
6	6/29	服薬支援機	大阪医療センター
7	7/4	小児処置・検査法	大阪医療センター
8	7/6	PCR検査装置	大阪医療センター
9	7/15	配薬準備機※	大阪医療センター
10	7/15	服薬監査支援システム※	大阪医療センター
11	9/5	床ずれ防止用マット	大阪医療センター
12	10/24	薬剤用自動攪拌器	大阪医療センター
13	1/16	歩行トレーニング機器	大阪医療センター
14	1/23	医療用シール材	大阪医療センター
15	2/13	CT画像解析ソフト	大阪医療センター
16	2/20	運動機器	大阪医療センター
17	3/6	医療用包装材	大阪医療センター



※複数部門で評価を実施。

評価者の例

医師、看護師、放射線技師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、手術部医師、救命救急士、臨床工学技士、言語聴覚士など

多様化する事業機会をとらえて、2019年度より新たに4つの分科会を設け、テーマごとに掘り下げて、情報提供や交流・マッチングを実施する。

デジタル医療分科会 (2018～)

高度化するA I、I o T技術等の医療・ヘルスケア領域での応用可能性を探る



看護・在宅医療分科会 (2019.5～)

規制対象となる医療機器のみならず、業務補助や生活支援も含む医療現場ニーズ商機を探る



介護・福祉分科会 (2019.8～)

今後一層の人材不足が懸念される介護福祉分野の課題・動向を紹介する



再生医療等分科会 (2019.9～)

再生医療等に関する課題やビジネス展開のヒントとなる取り組みを紹介する



デジタル医療分野を対象に、セミナー、シンポジウム等を実施した。

2022年度 開催概要

■ 6/2、9/28、12/21、3/20

デジタルヘルスセミナー

関西医薬品協会、LINK-J、大阪商工会議所が連携し、近年、活発化しているデジタルヘルスやビッグデータ、AIなどの取組み支援、関連産業の活性化を行うための「デジタルヘルスセミナー」を開催。

■ 11/7 ヘルスケアイノベーションフォーラム

持続的な国民皆保険制度と健康寿命の延伸に創薬エコシステムが資する役割を議論する医療政策フォーラムを開催。

分科会登録者数 802社1,898名（2023.2現在）

特徴

- 急速に拡大するデジタルヘルス = AI, IoT等のデジタル技術を駆使した健康・医療分野における課題解決 に関する取り組みを紹介。
- 万博やスマートシティを見据え、規制対象となる高度医療機器のみならず、ウェルネスや生活全般に関わるサービス、医療従事者の負担軽減を目的としたサービスも扱う。
- 国内のみならず、国外からも講師を招き、世界の最先端の情報を提供。



看護・在宅医療／介護福祉分野でのビジネス展開を目指す企業を対象に、セミナーを実施。

開催概要

■ 3/13 看護現場の課題を知る（セミナー、座談会） ＜第1回合同分科会＞

日時：2023年3月13日(月) 10:00～12:10(予定)

場所：大阪商工会議所／オンライン

COVID-19の発生により、医療・看護・介護の現場へのアクセスが難しくなったことを受けて、感染管理の現状と現役のCNSから直接現場ニーズを聞く機会を設定。

プログラム

1. セミナー「感染管理と現場への影響」
大阪公立大学療養支援看護科学 感染看護学 教授
佐藤淑子 氏
2. 臨床現場の課題発表、座談会
独立行政法人神戸市民病院機構
神戸市立西神戸医療センター
感染防止対策室副室長 看護部師長
新井まゆ子 氏

浅香山病院 感染管理室 室長・看護師長
金崎美奈子 氏

大阪公立大学大学院看護学研究科 看護学専攻 助教
喜田雅彦 氏

分科会登録者数

【看護・在宅医療】 394社740名（2023.2現在）

【介護・福祉】 336社642名（2023.2現在）

再生医療を中心とした先端医療における最新動向の紹介や主要テーマに関する情報提供を実施した。

2022年度 開催概要

■ 9/9 KRICフォーラム

再生医療の新たな展開・可能性と標準化の動向について紹介。

■ 9/27 ライブセッションin 再生医療①

■ 10/18 ライブセッションin 再生医療②

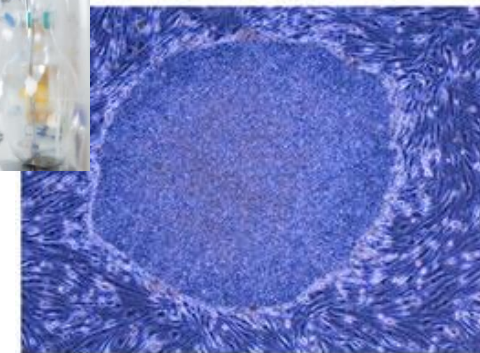
■ 11/9 ライブセッションin 再生医療③

■ 1/27 ライブセッションin 再生医療④

講師とのディスカッションを通じ、産学連携によるマッチングを創出。

特徴

- 再生医療を中心とした先端医療における最新動向を紹介。
- 中小企業を中心に再生医療分野への参入事例や再生医療に係る法規制等の情報を提供。
- 関連施設の見学会を実施。



分科会登録者数 261社572名（2023.2現在）

特に異業種から医療機器産業へ参入する企業・参入して間もない企業や部素材・技術の医療機器への応用を検討する企業を支援すべく、医療機器企業への売込み商談会（逆見本市）を開催。

特徴

- 買い手企業・売り手企業ともに全国から募集。関西外からの参加希望者も多数。
- 商談前に大商アドバイザーから売り込み手法のアドバイスを受けられる。加えて当日もアドバイザーが全ての面談に同席し売り手企業をサポート。
- 今回は企業の希望によりオンラインまたはリアルで商談を実施。また、デジタル関連案件も募集。

開催概要

第19回医療機器企業への売込商談会（逆見本市）～製品・試作品編～

日時：2022年11月9日、10日、14日、15日、24日、25日

※買い手企業ごとに日程を設定

実施方法：リアル（大商会議室）またはオンライン

出展企業（買い手側）：カイゲンファーマ、東レ、三笑堂、オルバヘルスケアホールディングス、
ジンマー・バイオメット合同会社

開催結果 商談申込：30社81件 商談実施件数：39件

第20回医療機器企業への売込商談会（逆見本市）～部素材・技術編～

日時：2023年1月17日、18日

※買い手企業ごとに日程を設定

実施方法：リアル（大商会議室）またはオンライン

出展企業（買い手側）：常光、大研医器

開催結果 商談申込：15社25件 商談実施件数：13件



JICAと連携し、途上国の医療動向の情報提供とブラジルの病院の医療ニーズ紹介を行った。後日医療ニーズへの提案を募り、同病院のとのマッチングを行った。

開催概要

日時：2022年8月5日（金）15：10～17：10

会場：オンライン開催(zoom)

主催：大阪商工会議所、(独)国際協力機構（JICA）

共催：京都・神戸商工会議所、近畿経済産業局

独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）大阪本部

後援：(公社)2025年日本国際博覧会協会



プログラム

JICAの日系社会への支援

独立行政法人国際協力機構 中南米部 計画・移住課 前課長 石橋 匡

調査事業「ブラジルの医療機器市場と規制」の作成動画

独立行政法人日本貿易振興機構 サンパウロ事務所

メディカル分科会の活動と医療分野のビジネス

ブラジル日本商工会議所 メディカル分科会会長/日本光電ブラジル（有）社長 市川 幸太郎 氏

医療分野でのJICA中小企業・SDGsビジネス支援事業

独立行政法人国際協力機構 関西センター シニア・アドバイザー 笛吹 弦

ブラジル医療分野でのJICA中小企業・SDGsビジネス支援事業

独立行政法人国際協力機構 ブラジル事務所 企画調査員（中小企業・SDGsビジネス支援事業） 齊藤 広子

ブラジルの日系病院における医療ニーズ

（サンタクルス日本病院、日伯友好病院、アマゾニア日伯援護協会、SBC病院）

独立行政法人国際協力機構 ブラジル事務所 企画調査員（中小企業・SDGsビジネス支援事業） 齊藤 広子

開催結果

セミナーには**58名**が参加。マッチングは**6社**から提案があり、全件についてブラジル日系病院との個別面談を実施し、事業化の検討を進める。

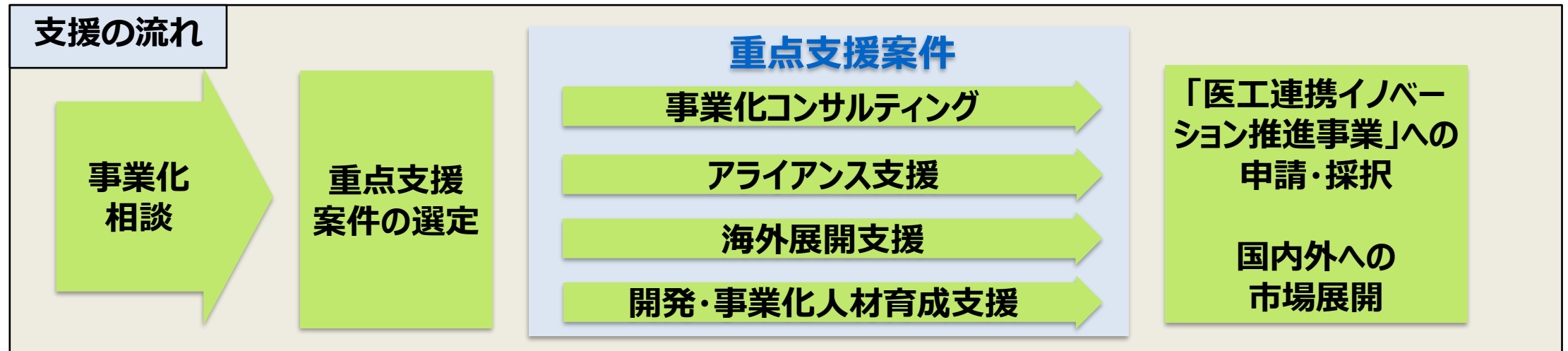
AMED(日本医療研究開発機構)の「医工連携イノベーション推進事業(地域連携拠点自立化推進事業)」に採択(R3~4:地域連携拠点自立化推進タイプ、R5~6:医療機器実用化支援タイプ)。全国の経済産業局ブロックを対象に募集され、関西地域は大商が代表機関となり域内の支援機関等を取りまとめて申請・採択。

事業概要

- **高度な知識を有する事業化人材を地域の拠点に配置**し、地域の特色を活かしたニーズ・シーズの橋渡し活動等を通して医療機器開発プロジェクトを組み立てる。
- **事業化支援のためのコンサルティングや指導を行い、医療機器開発の支援を充実**させることで、**開発支援案件をAMED「医工連携イノベーション推進事業(開発・事業化事業)」の公募要件を満たす提案に育て上げる**。
- 中長期的に地域の取り組みが自立的に活動可能な支援体制を整備する。

関西地域連携拠点の取り組み

国内外の市場展開を見据えた「出口戦略」の立案・実行に対する伴走支援が可能となり、**MDFの医療機器開発支援機能を強化**。



これまで**68件が事業化**（上市等）

★その他、メディカル部門新設、分社化、業許可取得、雇用増等の波及効果あり

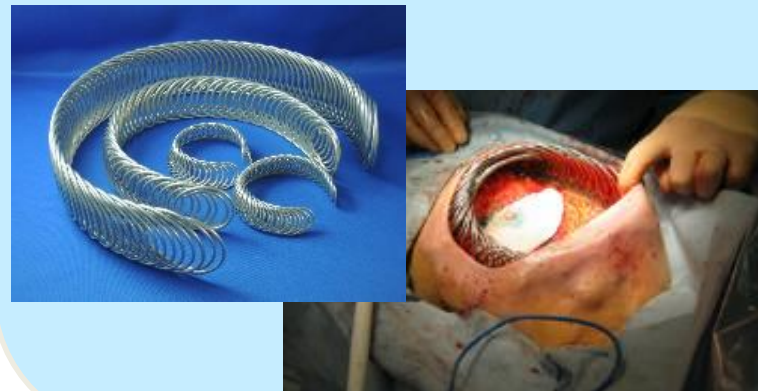
携帯型デジタル呼吸測定器

- ・開発企業：
（株）木幡計器製作所（大阪府）
- ・連携機関：
国立国際医療研究センター病院
- ・概要：
呼吸筋力測定が可能な小型携帯型の専用計測器。呼吸訓練の効果指標として、ボタン1つの操作でベッドサイドでも簡単に測定が可能
- ・その他：
2019年度 Medtec イノベーション大賞「新規参入・期待賞」を受賞。



スパイラルリトラクター

- ・開発企業：
（株）オーゼットケー（大阪府）
- ・連携機関：
国立病院機構四国がんセンター
- ・概要：
乳がん手術において切開創に挿入して全周的な視野の確保ができる開創器
- ・その他：
製造業許可を取得2020年度Medtecイノベーション大賞「チャレンジ賞」受賞
“関西ものづくり新選2019”にノミネート



LED照明付プラスチック開創器

- ・開発企業：
安井(株)（宮崎県）
- ・連携機関：
琉球大学医学部附属病院
- ・概要：
先端の鉤部分が透明なプラスチックでできた開創器。LED照明がついているため、開腹手術などで体内の処置を行う際に、術野を明るくすることが可能
- ・その他：
2018年グッドデザイン賞受賞
海外展開拡大中

